

Evergreen NEWS

ニュースといえば時勢に旬な話題、時が過ぎれば価値のなくなるものも多いはず。でも、振り返ってみればスウェーデンハウスには、いまでも色褪せないニュースがたくさんあります。30周年の歴史を物語るEvergreen NEWSをご紹介します。

BACK TO >>>

1999

全棟高性能保証表示システム
(CQ+24) 開始

暮らし心地のお約束。

日本初、一邸一邸の性能“見える化”を実現。

1999年3月、次世代省エネルギー基準公示に伴う「住宅の品質確保の促進等に関する法律」の成立（2000年に施行）を受けて、快適な居住空間を創出する気密・断熱・換気性能が広く話題に上るようになりました。そのため、当時多くのハウスメーカーが一律に高气密・高断熱住宅の訴求を開始しています。しかし、お客様にとってどの程度の

性能が本当に優れているのか分からないという状況を招いていました。快適な居住空間は、気密・断熱・換気性能の3つが相重なってこそ実現するものであるにもかかわらず、多くのメーカーは間取りや施工精度で大きく変わる気密・断熱性能をモデルプランなどで表示したため、一邸一邸の実性能との違いが生まれていたのです。



1999年に全国紙の新聞に掲載された全面見開きカラー広告。現在でも色褪せない先進性が話題になった。

1999年、スウェーデンハウスは「全棟高性能保証表示システム（CQ+24）」を発表。このシステムは、お客様の実際の「暮らし心地」までお約束する画期的なものでした。一邸ごとの断熱性能（Q値）を設計段階で計算して表示し、気密性能（C値）を竣工時に実測・表示、さらに当時義務化されていなかった24時間換気システムに熱交換型のシステムを標準装備することを宣言したのです。実測も含め、一邸ごとに性能を確認し、お引渡しをする。当り前のようで誰も考えなかったことを、私たちは日本で初めて実現しました。それは、創業以来どの家も等しく高い基本性能を守り続けてきたスウェーデンハウスだからできたこと。そしてお客様のご理解と協力があってこそ実現したこの取り組みにより、お客様に実際の性能を分かりやすくお伝えでき、社員や現場のスタッフは「本当に良い家を作っている」という実感を強くすることもできました。すべてのスウェーデンハウスが快適であるために、これから一邸一邸の表示を続けて参ります。

※「2013年10月の省エネルギー基準改正」については、以下をご覧ください。

弊社ホームページ（<http://www.swedenhouse.co.jp>）、テクノロジー＞高气密・高断熱・計画換気＞省エネルギー基準の改正前に、皆さまにお伝えしたいこと。（PDF）
The Sweden House vol.155 P.21-22 [お知らせ 省エネルギー基準の改正前に、皆さまにお伝えしたいこと。]

1984

1991

1999

2000

2004